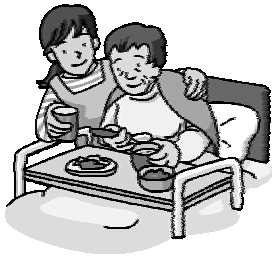


平成22年度 厚生労働省 老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)
高齢者の食べることを支援する効果的な栄養・食事サービスの確保等に関する調査研究
(委員長 井形昭弘 名古屋学芸大学学長)

高齢者の「食べることを支援するための栄養ケアチーム指導者研修会



主催: 一般社団法人日本健康・栄養システム学会
平成22年度老人保健事業推進費等補助金
(老人保健健康増進等事業分)高齢者の食べることを支援する
効果的な栄養・食事サービスの確保等に関する調査研究班
協力: 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会
社団法人 全国老人保健施設協会
一般社団法人 日本慢性期医療協会

医療・介護サービスにおいて、高齢者の「食べることを支援する栄養ケアの質の一層の向上が求められています。一方、介護保険サービスにおける栄養ケア・マネジメントには、摂食・嚥下障害、認知症、エンド・オブ・ライフといった困難事例に対応するため、栄養ケアチームによる多職種が連携した「食べることを」への支援が求められています。

この度、平成22年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)の交付を得て、本学会に蓄積された研修教材や教育システムを活用して、医療・介護サービスにおいて高齢者の「食べることを」の支援を担うチームの人材育成のための研修・評価体制の基盤づくりのための指導研修事業を行い、その有効性を評価し、高齢者の「食べることを」を支援する効果的な栄養・食事サービスの全国的な推進に寄与することになりました。

高齢者の医療や介護に携わる専門職の皆様は、下記のように高齢者の「食べることを支援する」栄養ケアチームの研修指導者や研修施設を育成するための指導者研修を開催致しますので、是非、ご参加くださいますようお願い申し上げます

対象職種

高齢者医療、介護サービスの経験3年以上であり、研修終了後、研修指導者、講義を担当することのできる医師・歯科医師・薬剤師・看護師・管理栄養士・作業療法士・理学療法士
言語聴覚士・歯科衛生士・介護支援専門員・社会福祉士・介護職等の専門職

研修会の流れ

①2日間指導者研修参加(知識習得レベル)

②2日間指導者研修+自施設にて実習(修了証発行)

③研修施設として申請
本学会が開催するNST臨床研修免除(医師については申請中)
監督責任者となった管理栄養士は論文審査で臨床栄養師の
資格取得可(NST加算の要件を満たす)

①あるいは②のみの参加可能です。

開催地・日程

- 第1回 福岡会場**
平成22年11月27日(土)、28日(日)
福岡女子大学大会館
- 第2回 静岡会場**
平成22年12月5日(日)、6日(月)
静岡県立大学講堂
- 第3回 札幌会場**
平成22年12月25日(土)、26日(日)
共済ホール
- 第4回 東京会場**
平成23年1月8日(土)、9日(日)
昭和女子大学グリーホール

費用

教材実費:7,000円

- ①栄養ケア・マネジメント手引き書(DVD付)
- ②認知症・エンド・オブ・ライフの栄養ケア手引き書
- ③摂食・嚥下障害・認知症における栄養ケアアセスメント
- ④講義内容のハンドアウト
- ⑤その他

時間

9時30分受付開始
10時30分研修会開始
17時終了予定

一般社団法人 日本健康・栄養システム学会
東京都台東区浅草橋2-51-5 クレア201
Mail: ncm@j-ncm.com / Tel: 03-5159-0365

応募方法などは裏面をご覧ください

高齢者の「食べること」を支援するための 栄養ケアチーム指導者研修会



E-mailでのお申込み

- ①施設の種類
- ②施設名
- ③施設長名
- ④連絡先(郵便番号・住所・電話番号)
- ⑤参加者名
- ⑥職種

①～⑥をご記入の上、参加希望会場をご確認の上、メールを送付願います。

福岡:jncm-fukuoka@j-ncm.com

静岡:jncm-sizuoka@j-ncm.com

札幌:jncm-sapporo@j-ncm.com

東京:jncm-tokyo@j-ncm.com



事務局より返信メール

登録番号が記載されたメールが届きます。



郵便局にてお振込

登録番号が記載されたメールが届きます。

郵便振込先

00190-9-408852

口座名義:一般社団法人 日本健康・栄養システム学会

通信欄に、受付番号【例:SAP-001】を記載してください。

☆参加人数が複数人の場合は通信欄に登録番号と合計人数を記載してください。



当日振込用紙を持参

申込期間以降は、全て当日受付とさせていただきます。

参加者には、後日メールにて自己評価アンケートにご協力をお願いいたします。



プログラム内容

I. 講義

＜高齢者の『食べること』を支援することの大切さ＞

名古屋学芸大学学長 井形昭弘

高齢者の臨床栄養

－低栄養状態を知ろう

－経管栄養法と口から食べることへの移行のための教育

相山女学園大学教授 加藤昌彦

II. 栄養ケア・マネジメントの基礎教育

高齢者の「食べること」の支援に参加するために

栄養ケア・プログラムのポイントを教える。

神奈川県立保健福祉大学教授 杉山みち子

III. 摂食・嚥下障害と栄養ケア・マネジメント教育

病用食品(総合栄養食品)、嚥下困難者用食品を含めて

静岡県立大学教授 合田敏尚

IV. 認知症高齢者の栄養ケア・マネジメント

特別養護老人ホームふれあいの森 田中和美

V. エンド・オブ・ライフの栄養ケア・マネジメント

聖路加看護大学准教授 梶井文字

静岡会場:千葉大学教授 野地有子

VI. ワークショップ

チームでの取り組み方の発表、後日レポート等

※一部内容が変更することがございます。ご了承下さい。

※2日間の講座を修了し、実習(10時間:自施設での症例検討)を修了した方には指導者研修修了証を発行いたします。

本研修会におきましては、
同業他職種の方も参加して
いただけます。

同じ病院や施設などの方
にも、お伝えいただければ
と思います。

事務局より

詳細は学会HPへ: <http://www.j-ncm.com/>